



平成23年(2011年)
2/5
第1244号

発行：小平市
編集：環境部
ごみ減量対策課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報 こだいら

ごみ分別
特集号

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp

ごみは正しく分別して出しましょう

燃えないごみの収集で、
爆発・火災事故が起きています

いずれもスプレー缶・
ガスカートリッジ缶が原因



最近の事故は…

小平・村山・大和衛生組合での爆発事故

昨年の9月29日(水)に、小平・村山・大和衛生組合の粗大ごみ処理施設で、大きな爆発火災事故が発生し、施設にかなりの被害がありました。

幸いなことにけが人などの人的被害はありませんでしたが、施設の機械設備では、操作電源の絶縁不良、照明関係配線の焼損、破砕物排出コンベア出口シュートのひずみなど、建物では、出入口扉および天井爆風口の破損などがありました。

この事故で粗大ごみ処理施設の運転は休止しましたが、市民生活に与える影響を最小限にするため、早期再開を最優先とし、電気系統の仮復旧後に試運転を行い、7日後から処理を再開しました。その後、休業日に補修などを行い、本復旧しましたが、補修費用が約1,400万円かかりました。

また、12月21日(火)にも爆発火災事故が発生し、照明関係配線の焼損などの被害がありました。

両事故とも、小平消防署の現場検証によると、原因は特定できませんでしたが、不燃ごみに混入されたスプレー缶、ガスカートリッジ缶などから漏れたガスが破砕機内に充満し、処理中に出る火花に引火して爆発したものと推測されます。



処理施設から立ちのぼる煙



爆発直後の処理施設の内部

収集車両の火災事故

昨年の11月10日(水)に小川町一丁目、ごみ収集車の火災事故が発生しました。

燃えたごみの中から、中身が入ったまま出されたスプレー缶やガスカートリッジ缶が発見され、これらが火災の原因になったと思われる。

直ちに消火作業を行ったため、幸いにも大事には至りませんでしたが、人命にかかわる重大事故にもつながりかねません。

事故は今回が初めてではなく、毎年数件起きています。



火災が起きると収集車の中のごみを出すこととなります

分別が必要なもの

ライター、カセットテープ・ビデオテープ、割れ物や刃物などの危険物は、燃えないごみの日に別の袋でお出してください。

市では収集できないもの

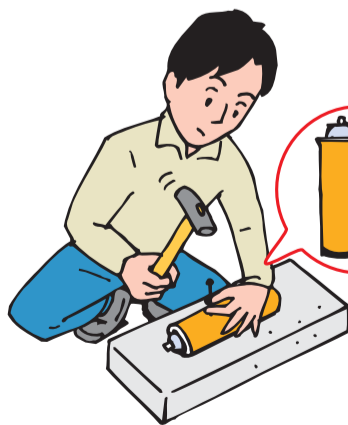
バッテリー・タイヤなどの自動車部品、バイク、消火器、プロパンのボンベ、耐火金庫、ピアノ、石油、薬品、建築廃材、コンクリート、ブロック、石、砂、土など

※販売店や廃棄物処理業者へお問い合わせください。

スプレー缶などは中身を空にし、穴を開け、別袋で

必ず守ってください
スプレー缶・ガスカートリッジ缶の出し方

1 中身を全部使い切る



2 穴を開ける

※火の気のない風通しのよい屋外で、穴を開けてください。



3 他の燃えないごみとは別の袋に入れる

※袋に「スプレー缶」または「ガスカートリッジ缶」と書き、燃えないごみの日に出してください。

皆さんの心がけで事故は防げます。分別の徹底をお願いします